

第2学年 社会科 学習指導案

場 所
対 象
指導者

1 単元名

歴史的分野 第4章 近世の日本 3節 産業の発達と幕府政治の動き

2 単元について

(1) 生徒について

地理的分野の学習に比べ、歴史的分野の学習の方が興味や関心をもって授業に臨んでいる生徒が多い。しかし、興味や関心の中心は、小学校での既習事項でもあることから信長や秀吉、家康などといった武将の人物史に偏っており、当時の幕府の政策や、庶民の生活、産業の発展などについては知識や関心がない生徒が多い。また、小グループでの活動や調べ学習を好む生徒が多い一方で、資料を読み取り、まとめたりすることを苦手と感じている生徒も多い。

(2) 教材について

本単元は、中学校学習指導要領社会の歴史的分野の内容「(4) 近世の日本」のエについて、百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発展などへの対応という観点から代表的な事例として徳川吉宗、田沼意次、松平定信、水野忠邦の政治改革を取り上げる。その中で、幕府の財政の悪化に着目し、幕府の政治が次第に行き詰まりを見せたことを理解させることをねらいとする。

江戸時代前半の日本は「開発・発展の時代」であった。戦乱が終わったことにより、農村では新田開発、都市部では城下町の建設や商業の発達が進んだ。その結果、米の生産量も増加し、人口も大幅に増加した。しかし、1720年以降の江戸時代後半は「停滞の時代」となる。新田開発や城下町の建設、商業や交通網の発達が一段落したためである。この時代、江戸幕府は財政難の克服に苦勞しており、四度の政治改革において、田沼意次以外の政権担当者は農業を重視して年貢の収入を増加させること、そして、質素・儉約を打ち出し贅沢を禁止することで慢性的な財政難からの脱却を目指した。

しかし、貨幣経済が発達し、新田開発をしつづけたため米の生産の増加に限界が生じ、さらに人口が増加せず米の需要が一定となったため、米が豊作となれば米の価格は値下がりし、米で支払われる武士階級の収入は減少した。逆に、凶作の年は米の価格が値上がりし、年貢を確保するため無理に米を徴収すれば大規模な百姓一揆が発生してしまった。

つまり、幕府の財政が米を基盤とする年貢収入に頼る限り、幕府の財政難は打開しない状況になっており、さらに、武士以外の町人や百姓にも出された儉約令は、米が支払われる武士階級には有効でも、稲作以外で十分な収入を得ている町人や百姓にとってはあまり意味が無く、不満だけが高まる結果となる。結果的に諸改革は失敗し、江戸幕府の政治の行き詰まりへとつながり、幕府は財政難を解決出来ないまま大政奉還にいたってしまう。

江戸幕府の政治改革は、その改革が実施されるに至った時代背景や、失敗となった理由を考察することによって江戸時代の大きな流れが理解できる。さらに、それぞれの時期に重視された産業に着目することで、産業構造の変容とその要因についても理解できる。そこで、農村の変化や商業の発達と幕府の政治改革について、複数の歴史的な事象を関連づけて考察することで歴史的な見方や考え方を養うことができるものと考えて本単元を設定した。

(3) 指導について

本時では、水野忠邦が慢性的な財政難からの脱却、欧米諸国への対策を目指し行った政治改革の内容を理解することをねらいとする学習を行い、さらに既習事項をふまえて、生徒自身が当時の将軍や大老だったら、慢性的な財政難からの脱却への対策を目指しどのような政

策をとるかを考えさせる学習を設定する。

指導にあっては、貨幣経済の広がりにより、米を基盤とする幕府の財政が悪化したことや、当時の社会情勢について理解させていく。その後、幕府が緊迫する財政難を解決すべく行った政治改革の内容について、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。その中で、本時では天保の改革を取り上げ、財政難以外の問題も深刻化するなか、他の改革と比較し、儉約令や風俗統制令など非常に厳しい改革であり、さらに上知令により旗本や御家人（身内）の反対からわずか2年で破綻したことを理解させたい。

1点目は、学級全体で共通の問題意識をもたせるための学習課題を設定する。そのために、疑問が生まれるような資料を提示し学習課題をつくるようにする。

2点目は、考えを比較したり、関連付けたりするための発問の工夫をする。そのために、教師による問い返しや考えをつなぐ言葉の投げかけ、自分なりの根拠を基にしたりお互いの意見を補い合ったりしながら話させるようにする。

さらに、学級の生徒の実態を踏まえ、他者と必然的に関わり合う活動を意図的に設定するため、グループ内で分担を決めて調べる学習や調べたことをグループ内で説明しあう学習を設定する。

3 単元の目標と評価規準、指導計画

(1) 単元の目標

- 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追求し、近世の日本の特色を捉えることができる。また、様々な資料を収集し有用な情報を適切に読み取りまとめ、政治改革について多面的・多角的に考察し、自分の考えを適切に表現することができる。

そして、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解し、学問の発達や文化の特色について、社会の動きと関連づけて理解することができる。

(2) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革に対する関心を高め、意欲的に追求し、近世の日本の特色を捉えようとするとともに、現代に通じる近世の日本文化を尊重しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達における社会の変化、江戸幕府の財政悪化の原因や当時の社会情勢について諸資料に基づき、財政悪化の原因を考察し適切に表現することができる。また、幕府政治の動きを捉え、政治改革について多面的・多角的に考察し、公正に判断し自分の考えを適切に表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達や幕府政治の動きにおける、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革に関する様々な資料を収集し有用な情報を適切に読み取り、図表にまとめることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業の発達や幕府政治の動きにおける、江戸幕府の財政悪化の原因やそれに対する政治改革の内容を理解し、学問の発達や文化の特色について、社会の動きと関連づけて理解している。

(3) 指導と評価の計画（5時間）（太枠が本時）

時	学習内容	評価規準				評価規準
		関	思	技	知	
小学 6年	内容（1）カ 歌舞伎や浮世絵、国学や蘭学を学び、町人の文化が栄え新しい学問が起こったことを学習している。					
1	農業や諸産業や交通網の発達により、貨幣経済が広がり、町民の力が増したこと	○			○	様々な資料をもとに、産業の発達に対する関心を高めている。また、産業の発達により、貨幣経済が進展し、財力をつけた町人の力が増していったことを理解している。
2	都市の繁栄と元禄文化について				○	産業の発達における都市の繁栄と財力を増した上方町人が担った元禄文化の特色について理解している。

3	徳川綱吉と徳川吉宗の政治改革、貨幣経済の広がりについて			○	徳川綱吉と徳川吉宗の政治改革について、諸資料を適切に読み取り、まとめている。	
4	田沼意次と松平定信の政治改革について		○		田沼意次と松平定信の政治改革を比較し、政治改革の目的や内容について考察し、説明している。	
5	政治の動揺と社会の変化の中で発展した学問や化政文化の特色について			○	新しい学問の発達や化政文化の特色について、新しい学問や化政文化が生まれた背景を理解し、その知識を身につけている。	
6	水野忠邦の政治改革について		○		水野忠邦の政治改革について、諸資料を適切に読み取り、まとめ、改革の目的や内容について考察し、説明している。また、既習事項を生かし、グループごとに新たな政治改革を考えることができる。	
7	単元テスト		○	○	○	産業の発達や幕府政治の動きにおいて、江戸幕府の財政悪化の原因や政治改革についての知識を理解し、諸資料を適切に読み取り、近世の日本の特色を適切な言葉で表現できる。

4 本時の指導

(1) 目標

- ・水野忠邦の政治改革について、諸資料を適切に読み取り、まとめ、改革の目的や内容について考察し、説明することができる。また、既習事項をいかしグループごとに新たな政治改革を考えることができる。【思考・判断・表現】

(2) 評価規準

評価の観点	A 十分満足できる状況	B 概ね満足できる状況	支援を要する生徒への手だて
思考判断表現	<ul style="list-style-type: none"> ・水野忠邦の政治改革について、諸資料を適切に読み取り、まとめ、改革の目的や内容について考察し、説明している。 また、既習事項をいかしグループごとに新たな政治改革の提案を出せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水野忠邦の政治改革について、諸資料を適切に読み取り、まとめ、改革の内容について説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文の改革の内容について記述された箇所を確認させ、まとめやすくする。課題（貨幣経済、飢餓、外交の安定）を確認し、その課題解決のため何ができるか、考えさせる。

(3) 展開

	生徒の学習活動	教師の支援 【かかわりの場面】 ○発問 ◇留意点 ◆評価
導入 5分	1 問題を把握する 提示資料からわかることを考え発表する ・忠邦の改革が短すぎる。	問題を提示する (提示資料) 吉宗・田沼・定信・忠邦の政治改革の年数 ○資料からどんなことがわかるか
	2 課題を設定する <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">なぜ、水野忠邦の政治改革が2年間で終わったのか。</div>	本時の課題を設定する
	3 予想をたてる(グループ) なぜ短すぎるのか考える ・賄賂が横行したから。 ・大飢饉がおきたから ・百姓一揆や打ちこわしなど	予想をたてさせる ○課題に対する予想をノートに記入しよう。 ◇今までの改革が失敗した理由(既習事項)を活かして考えさせる

展開 30分	4 予想を発表する	予想を説明させる ◇根拠に着目して他の人の予想を聞かせる。 ◇他者と意見交換することで、新たな考えに気づかせる
	5 教科書を調べ、まとめる 天保の改革の背景と内容について分担し調べ、グループごとにノートにまとめる ①当時の状況 ②財政悪化に対する政策	教科書を調べ、まとめさせる ○グループごとに分担して調べよう 【分担して調べさせることで、責任感を持たせる】 ○各自で調べた内容をグループ内で発表させ、グループごとにまとめよう。 【調べたことをまとめて他者に分かりやすく発表させ、さらに、他者が調べたことを聞いて自分でまとめることで主体性を高めさせる】
	6 代表のグループはまとめたことを黒板に書き、全体で考察する	代表のグループはまとめたことを黒板に書かせ、全体で考察させる ◇①状況として、外国船の接近、飢饉による食糧不足、百姓一揆や打ちこわしの増加、元役人の反乱など、財政悪化以外の問題も深刻化していることをとらえさせる。 ②緊迫する現状のなか、倭約令、出版物の統制、株仲間の解散、出稼ぎ農民の帰村などの厳しい政策で質素倭約に努めていたこと。さらに上知令に対し旗本や御家人（身内）の反対が決め手となったこととらえさせる。
7 考察したことをまとめる	考察したことをまとめる ◇①～③のことから、財政悪化以外にも問題が増加→厳しく、幕府中心の政策→旗本・大名の反対→2年で失敗という流れをとらえさせる。	
終末 15分	8 本時のまとめを行う	本時のまとめを行わせる。
	悪化する財政難だけでなく、飢饉の発生や一揆・打ちこわしの増加、外国との接近など課題が増加したことから、厳しく・幕府中心の政策をとったため、旗本や御家人（身内）からも反対が出たため。	
	9 まとめを発表する	まとめを発表させる ◆水野忠邦の政治改革の内容や2年で破綻した理由について考察し、適切に表現している。【ノートへの記述で評価】
10 単元を振り返り、政治政策を考え、発表する (グループ) 財政難への政策を1つ考える。 ・年貢を米ではなく、お金で治めさせる。 ・産業を更に活性化させ、株仲間から税をとる一方で、賄賂への対策を万全にする。 ・質素倭約を強化し、さらに贅沢を禁止する。等 ・発問について考え、次の単元のスタートに繋げる	単元を振り返り、政治政策を考えさせる ○今までの学習を振り返り、自分達が当時の将軍や大老だったら、財政難の課題を改善するためのどのような政策を打ち出すか。新「○○の改革」 ◇既習事項を活かし、幕府の財政が米を基盤とする年貢収入に頼る限り、幕府の財政難は打開しない状況になってしまっていたことを理解して政策を考えられるよう支援する。 【グループ全員で話し合うことで、今までの学習内容を振り返りや現状を打開するための更なる政策を考え、主体的な思考を促せる】 ◆新しい政治改革について、現状を理解し、表現している。 ○結果的に色々な改革は失敗し、江戸幕府の政治の行き詰まり、幕府は財政難を解決出来ないのをみて、大名や庶民はどう思ったと思いますか。	